

# 2022年6月期第3四半期決算説明資料



上場市場 : 東証プライム 札証  
証券コード : 9450

 **2022年6月期3Q決算実績**

 **2022年6月期通期決算見通し**

 **トピックス**

**Appendix**

## 1

**2022/6期3Q実績：12%増収3%経常減益**

- ✓ 主力のホームユースは堅調維持。不動産事業も収益に貢献。本社管理費増などのマイナス影響をほぼ相殺
- ✓ スロースタートとなったが、1Q時点は30%減益、2Q累計時点は15%減益、3Q累計で3%減益と着実に持ち直しは進捗

## 2

**2022/6期通期見通し：26%増収12%経常増益**

- ✓ 従来見通し据置き。4Qは例年調整色増すが、高付加価値化やWi-Fi以外の事業などによりその傾向打破を見込む
- ✓ リスク要因はその高付加価値製品の浸透ピッチ。これまでのところはやや期待未達状況にあり、その巻き返しに注力

## 3

**トピックス**



**Fibergate Inc.**

株式会社ファイバーゲート

# 2022年6月期3Q決算実績

- 3Q累計で前年比12%増収、3%経常減益。本社管理費増などが重石となるも、主力のホームユースの堅調やその他事業（不動産）が下支え。1Q時点の30%減益、2Q累計時点の15%減益からは着実に持ち直し
- 通期見通しに対する進捗率は約7割。下期偏重型の展開は想定通りも、計画達成に向けて施策加速

(百万円) 百万円未満切り捨て 0.1%未満四捨五入	2021/6期 3Q実績	2022/6期3Q			2022/6期通期	
		実績	前年差異	前年比	見通し	3Q進捗率
売上高	6,400	<b>7,200</b>	+800	+12.5%	10,750	<b>67.0%</b>
ホームユース	5,289	<b>6,040</b>	+750	+14.2%	8,630	<b>70.0%</b>
ビジネスユース	1,105	<b>936</b>	▲169	▲15.3%	1,600	<b>58.5%</b>
その他	6	<b>224</b>	+218	35.8倍	520	<b>43.2%</b>
営業利益	1,284	<b>1,249</b>	▲35	▲2.8%	1,770	<b>70.6%</b>
ホームユース	1,454	<b>1,719</b>	+265	+18.2%	2,270	<b>75.8%</b>
ビジネスユース	358	<b>188</b>	▲169	▲47.3%	610	<b>31.0%</b>
その他	1	<b>23</b>	+22	19.5倍	▲20	-
調整	▲530	<b>▲683</b>	▲153	▲28.9%	▲1,090	<b>62.7%</b>
経常利益	1,268	<b>1,228</b>	▲40	▲3.2%	1,730	<b>71.0%</b>
経常利益率	19.8%	<b>17.1%</b>	▲2.8pp	-	16.1%	-
当期純利益	826	<b>826</b>	+7	+0.1%	1,180	<b>70.1%</b>

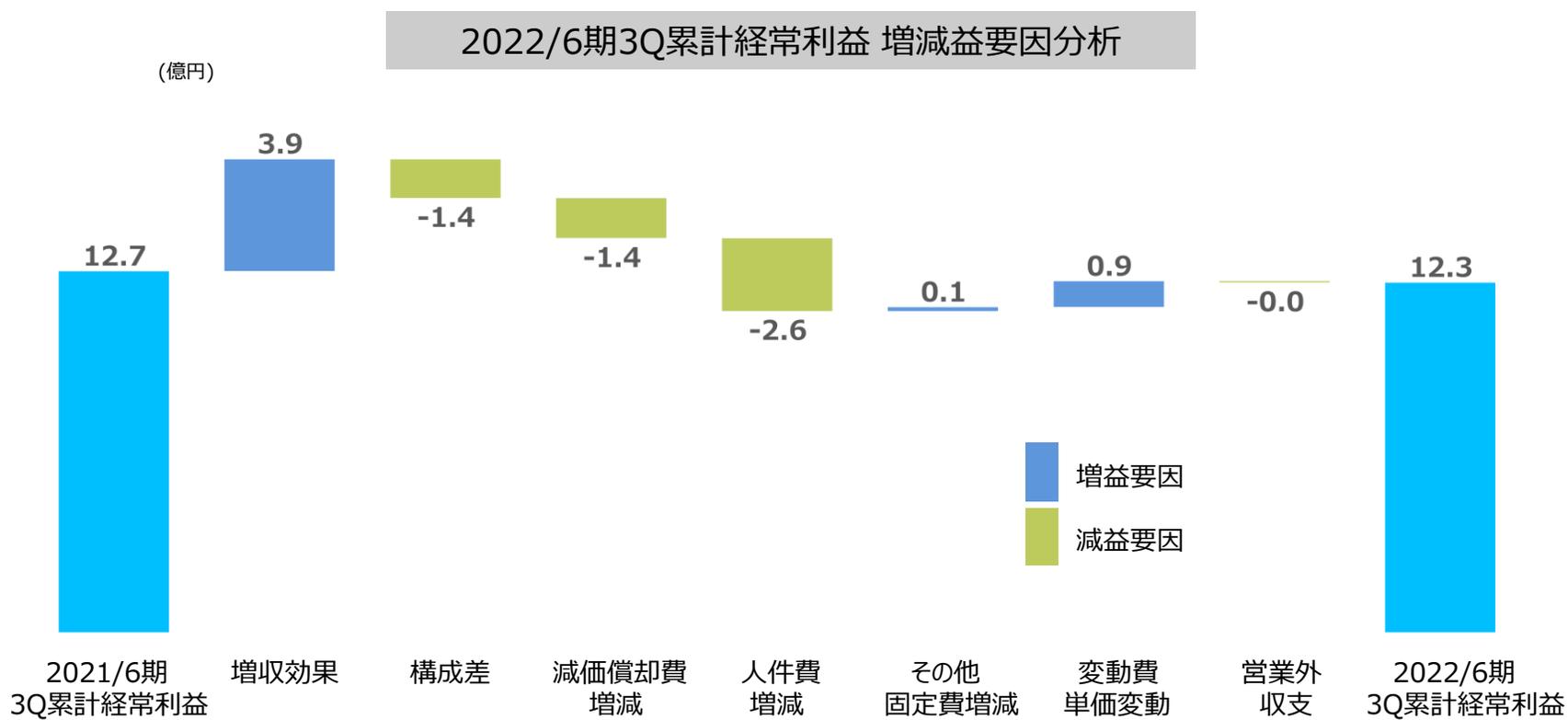
- 3Q単独では対2Q、対前年で2ケタを超える増収増益。3Qは需要期でもあり、四半期では過去最高を更新
- ストックの積上げに伴うホームユースの拡大に加え、子会社で展開する不動産事業も伸長。一方、ビジネスユースは人流回復に伴って改善基調にはあるものの、そのピッチは勢いを欠く

(百万円)	2021/6期				2022/6期			2Q/3Q 比較	前3Q/3Q 比較
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
売上高	2,128	2,048	2,223	2,090	2,258	2,323	2,618	+294	+395
ホームユース	1,713	1,661	1,914	1,777	1,930	1,977	2,132	+155	+217
ビジネスユース	415	385	304	248	257	336	342	+5	+37
その他	-	2	4	64	70	10	144	+133	+140
営業利益	407	455	421	274	288	445	515	+69	+93
ホームユース	443	487	523	416	451	611	656	+45	+133
ビジネスユース	152	140	65	82	53	76	58	▲17	▲6
その他	▲0	1	0	4	0	3	19	+16	+19
調整	▲187	▲174	▲167	▲229	▲216	▲246	▲219	+26	▲52
経常利益	402	449	416	274	279	439	509	+70	+93
経常利益率	18.9%	21.9%	18.7%	13.1%	12.4%	18.9%	19.5%	+0.6p	+0.7p
当期純利益	273	291	261	193	182	299	345	+46	+84

\*百万円未満切り捨て、0.1%未満四捨五入

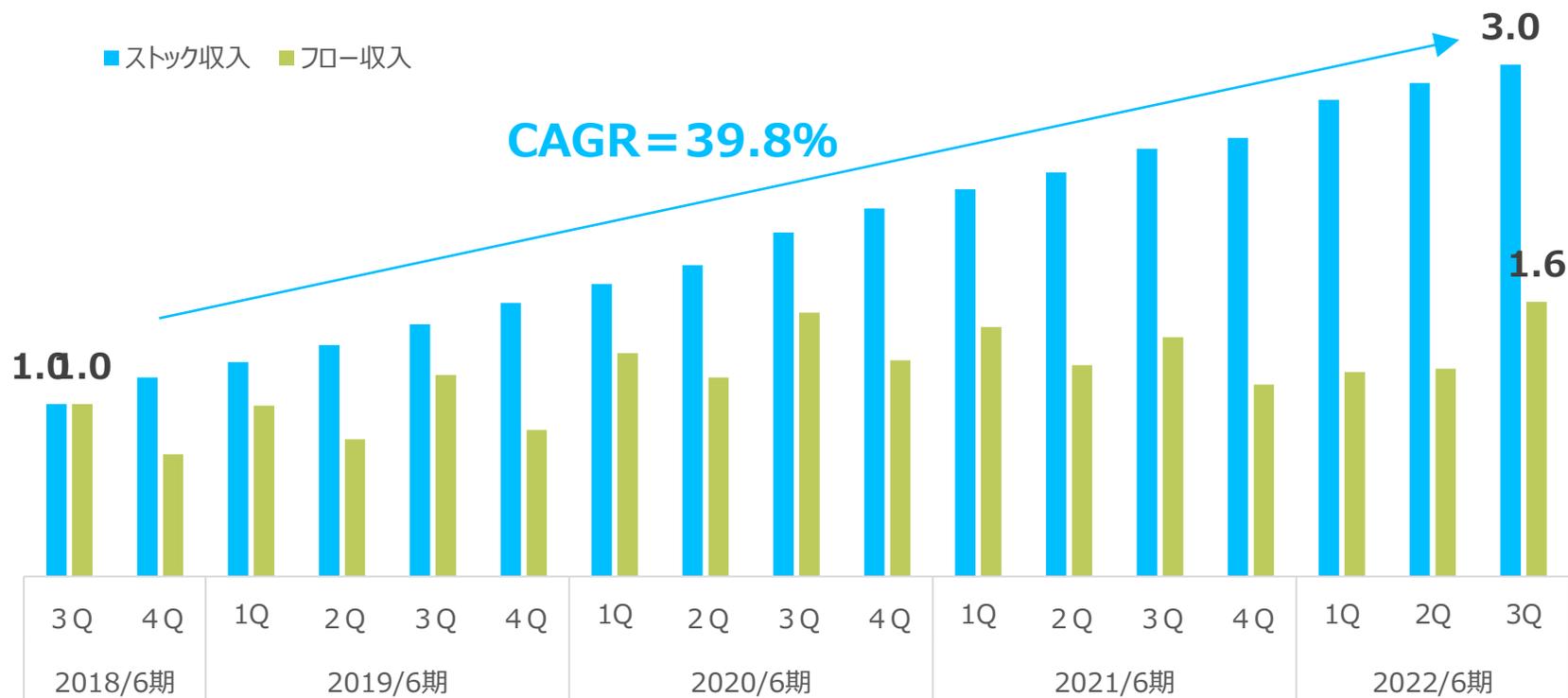
# 経常増減益要因分析

- 3Q累計経常減益の主因は、新会計基準に伴う一部契約変更や償却費や人件費の増加など。ホームユースやその他事業（不動産事業）の増収効果やトラフィック増に対応した通信回線の効率運用ではカバーできず
- ただし、3Qのみの経常利益を2Q実績と比較すると、0.7億円の増益。増収効果が収益を牽引



- ストック収入の連続拡大は上場来16四半期（=4年）に到達。3Q実績は2018/6期3Q比で3倍に拡大
- 2018/6期3Qからの成長ピッチは、契約戸数積上げが奏功し年率約40%。ただし、レジデンス契約の中心は既築物件から新築物件へシフトし、成長ピッチは徐々に減速。再加速に向け、営業手法アップデートが急務に

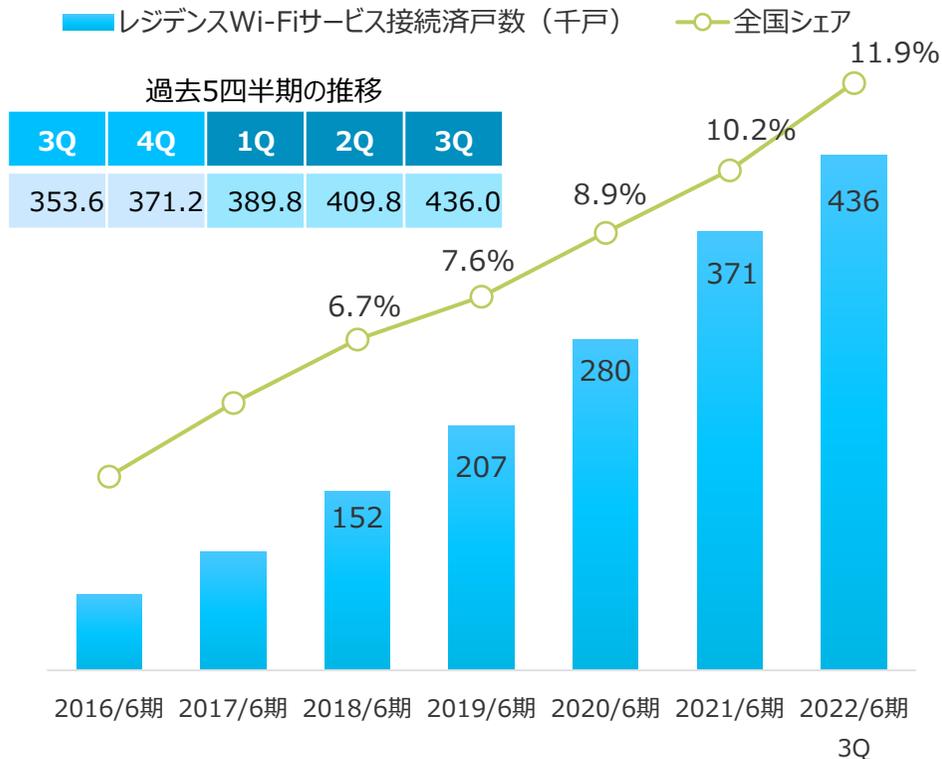
## ストック収入・フロー収入の四半期推移



注) 2018/6期3Q=1 として指数化。小数点以下の差により、同じ数値表記にもかかわらず、見かけ上グラフの高さに違いが生じることがある  
 この収入内訳は当社定義に基づく連続性のある比較数字であり、収益認識基準下における期間按分売上などは厳密には異なる

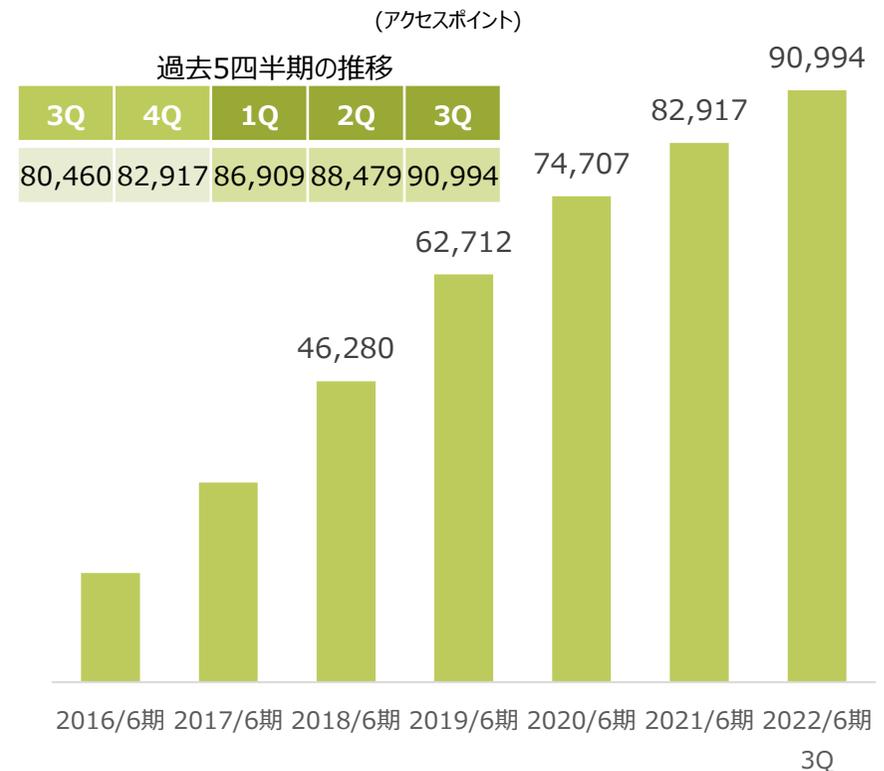
- レジデンスWi-Fiサービス接続済戸数は3Q末で約44万戸。季節要因などから契約戸数は直近一年で最大の積上げ。しかし、潜在市場の顕在化進む既築向けは伸び悩み、前年3Qとの比較では積上げピッチ減速
- フリーWi-Fiのアクセスポイントは9.1万ポイント。直近は観光施設や **Medical-Wi-Fi** の拡大に注力

## レジデンスWi-Fiサービス接続済戸数と全国シェアの推移



\*全国シェアはMM総研発表による全戸一括型マンションISPの提供戸数総数（各3月末現在）を当社会計年度末（もしくは直近四半期末）の契約戸数実績で除して算出

## フリーWi-Fiアクセスポイント数（注）推移



(注) 当社の認証システムを利用しているアクセスポイント数

# 連結決算概要(貸借対照表)

- 自己資本比率27.6%。収益認識基準適用による純資産の一部契約負債振替が影響
- 契約増に伴い固定資産や在庫が膨らむ構造に変化なし。懸念していた電子部品の供給不安はやや沈静化も、在庫は予防的に厚めの保有を継続。純有利子負債は約33億円（前期末の純有利子負債は約23億円）

(百万円)	2020/6期	2021/6期	2022/6期 3Q	2021/6期 比増減
流動資産	2,795	3,920	<b>4,114</b>	+193
現預金	1,415	2,196	<b>1,688</b>	▲507
売掛金	1,071	1,234	<b>1,428</b>	+193
契約資産	-	-	<b>190</b>	+190
棚卸資産	272	367	<b>740</b>	+373
固定資産	4,185	5,475	<b>6,866</b>	+1,391
有形固定資産	4,005	5,246	<b>6,124</b>	+878
総資産	6,984	9,397	<b>10,981</b>	+1,584
負債	4,274	5,720	<b>7,931</b>	+2,211
有利子負債	3,073	4,453	<b>4,997</b>	+544
契約負債	-	-	<b>2,023</b>	+2,023
純資産	2,710	3,677	<b>3,050</b>	▲627
負債純資産合計	6,984	9,397	<b>10,981</b>	+1,584

売上増によるキャッシュアウト先行に加え、厚めに保有していたキャッシュを整理。

収益認識基準適用による影響

半導体など電子部品は厚めの保有継続

純有利子負債 33億円

収益認識基準適用による影響

自己資本比率27.6%  
新基準適用が影響

\*百万円未満切り捨て、0.1%未満四捨五入



**Fibergate Inc.**

株式会社ファイバーゲート

# 2022年6月期決算見通し

# 2022/6期連結決算見通し① 総括表

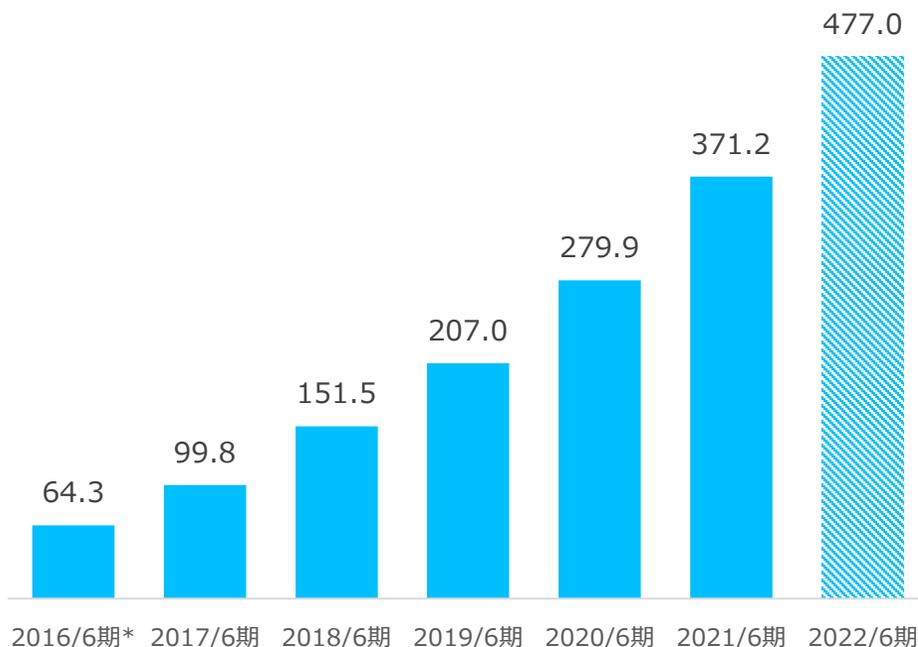
- 従来の通期見通しを据置き、前年比では27%増収12%経常増益を想定
- 3Q累計で経常利益はほぼ前年並みであるため、計画達成には4Qで一段の加速が必須。スロースタートとなった期初から徐々に巻き返しが加速してきたことに加え、高付加価値化や不動産事業などの寄与を見込む

(百万円。百万円未満切り捨て)	2020/6期	2021/6期	2022/6期 見通し	前年比	
				増減額	増減率
売上高	7,424	8,491	<b>10,750</b>	+2,258	+26.6%
ホームユース事業	5,712	7,067	<b>8,630</b>	+1,562	+22.1%
ビジネスユース事業	1,712	1,353	<b>1,600</b>	+246	+18.2%
その他	0	70	<b>520</b>	+449	7.4倍
営業利益	1,234	1,559	<b>1,770</b>	+210	+13.5%
ホームユース事業	1,484	1,871	<b>2,270</b>	+398	+21.3%
ビジネスユース事業	507	441	<b>610</b>	+168	+38.2%
その他	▲1	6	<b>▲20</b>	▲26	赤転
調整	▲755	▲759	<b>▲1,090</b>	▲330	▲43.5%
経常利益	1,215	1,543	<b>1,730</b>	+186	+12.1%
当期純利益	722	1,019	<b>1,180</b>	+160	+15.8%
<b>* &lt;前提&gt;</b>					
レジデンスWi-Fi契約戸数 (千戸)	279.9	371.2	<b>477.0</b>	+105.7	+28.5%
フリーWi-Fiアクセスポイント数 (千AP)	74.7	82.9	<b>84.7</b>	+1.7	+2.2%

- レジデンスWi-Fiサービス接続済累積戸数前提47.7万戸も据置き。4Qのみで4万戸追加というハードルは高いが、新築向け営業体制の強化、カメラ搭載などの付加価値拡大といった施策の効果発現を急ぐ
- フリーWi-Fiアクセスポイント数前提8.4万ポイントは既に大幅超過達成済。しかし、ビジネスユースの苦戦は継続しており、既にこの指標の業績連動性はかなり低下。医療現場や観光施設を勘案した新たなKPIを検討

### レジデンスWi-Fiサービス接続済戸数

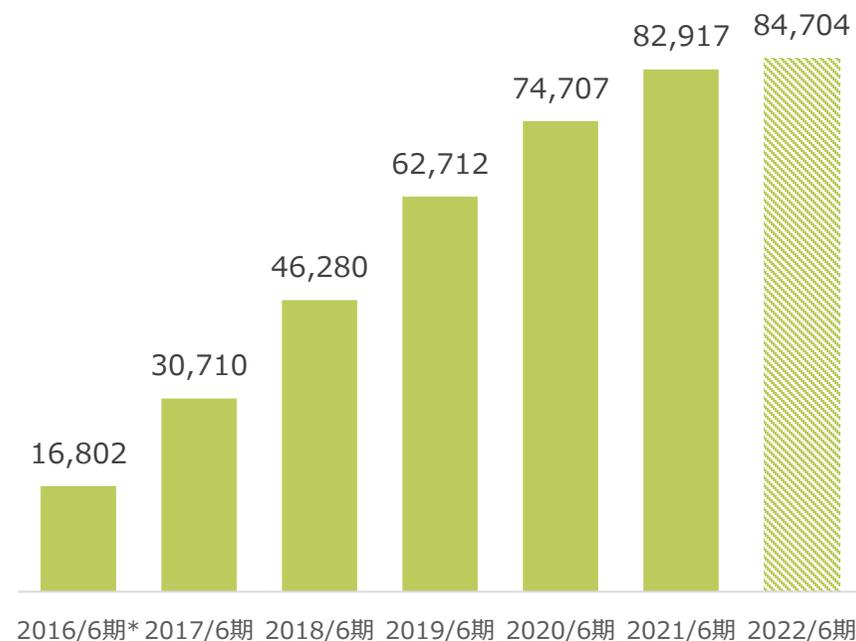
(単位：千戸)



\*2016/6期は6ヵ月決算

### フリーWi-Fiアクセスポイント数 (注) の推移

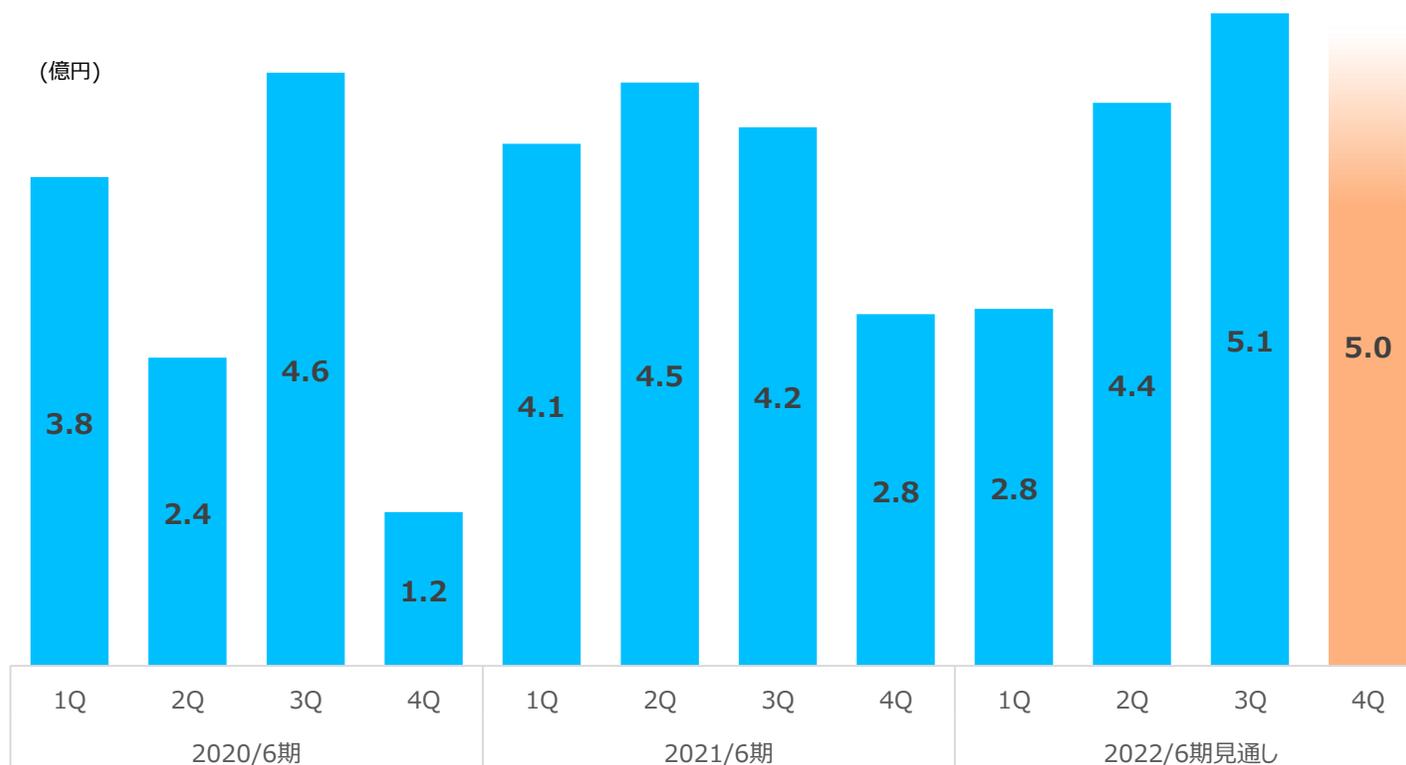
(単位：アクセスポイント)



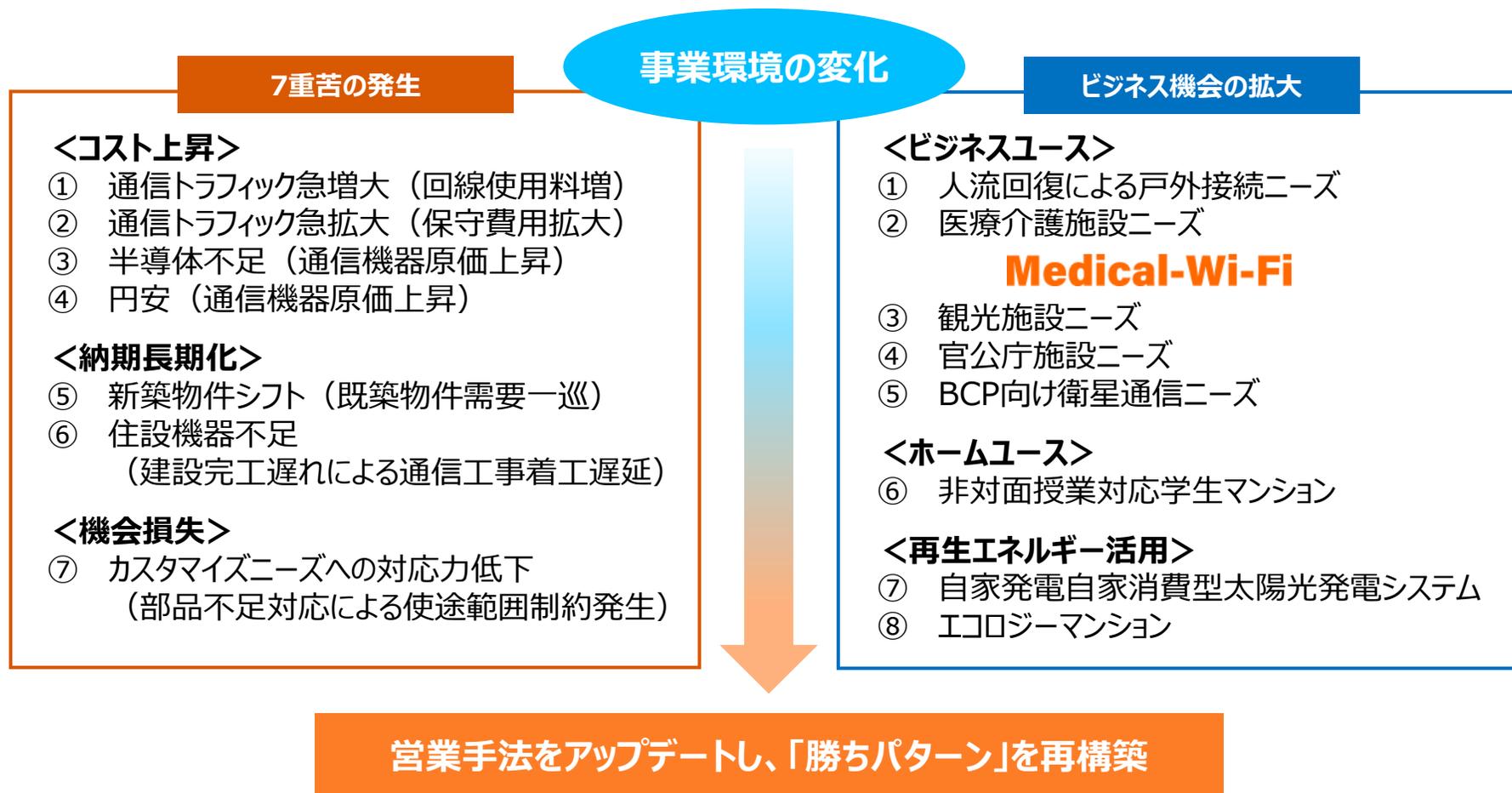
注：当社の認証システムを利用しているアクセスポイント数

- 4Qのみでは約5億円の経常利益を想定。季節要因や3Qの反動から歴史的に4Qは伸び悩む傾向にあるものの、当期は高付加価値化やWi-Fi以外の事業などによりその傾向打破に注力
- リスク要因は、高付加価値化製品の浸透ピッチ。これまでのところはやや期待未達状況にあり、その巻き返しがカギに。前年より台頭してきた電子部材の調達不安も引続き懸念材料として燻る

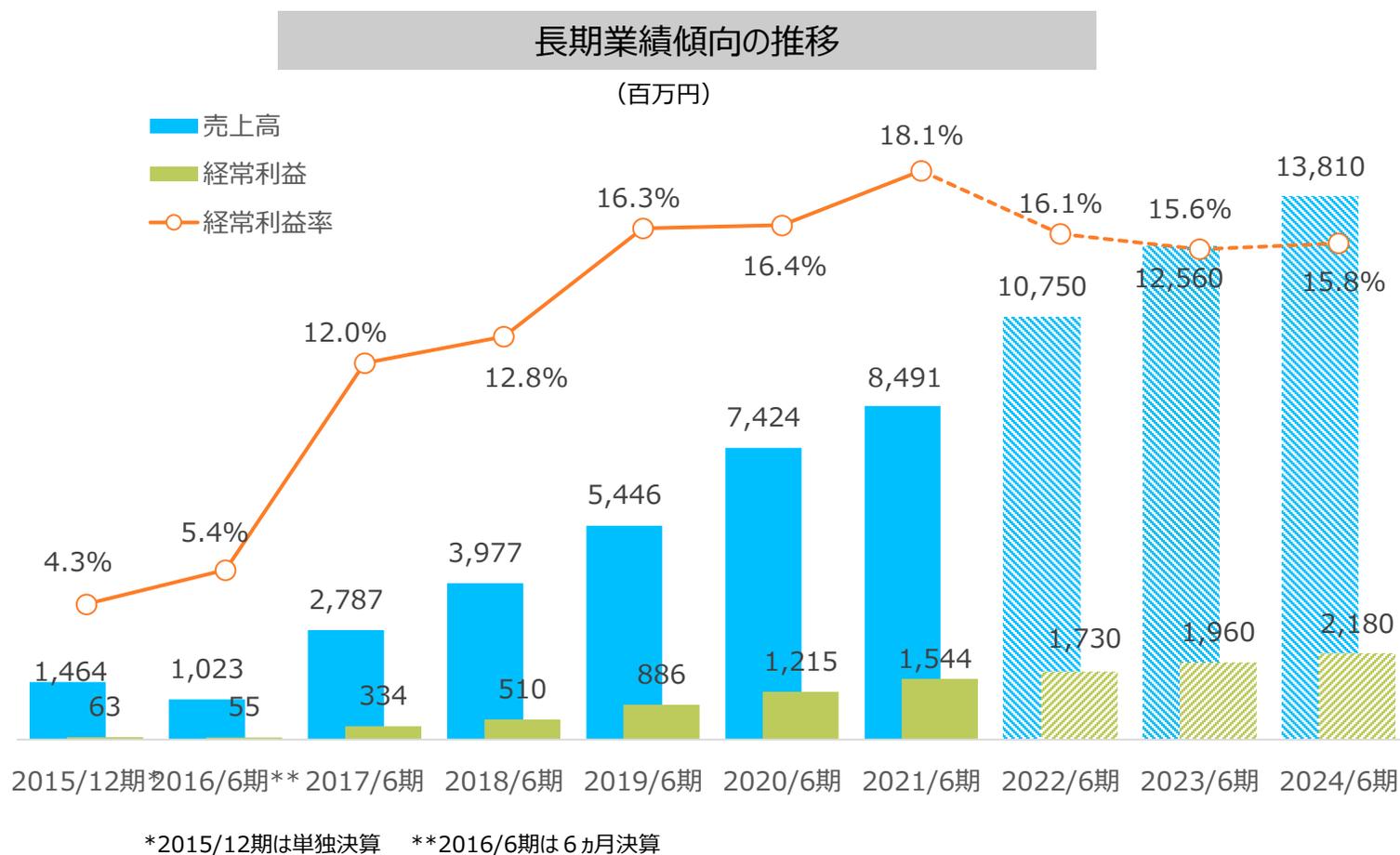
四半期別経常利益の推移イメージ



- コロナ禍を経て、事業環境は大きく変化。7重苦が発生する一方、ビジネス機会も拡大
- 営業手法のアップデートを急ぎ、「勝ちパターン」の再構築が当面の重要な経営課題に



- 2023/6期、2024/6期の収益目標に変更なし。2024/6期には経常利益およそ22億円を目指す
- ただし、ホームユースWi-Fiでは新築案件へのシフト、ビジネスユースWi-Fiでは収益構造の変化など、ビジネス環境は直近で変化。Wi-Fi以外の事業の伸長も急ぎ、目標達成に向けての対応策を再構築



- 全ての株主様に対し公平な利益還元を図るため、2023/6期より株主優待制度を廃止。ただし、2022年6月を基準月とした優待制度については現行通りとし、変更はなし
- 2023/6期以降は、配当金による直接的な利益還元に一本化を図る計画。配当規模も、従来は当初想定利益の超過分を配当原資と設定していたが、今後は期間利益に一定の配当性向を乗じた金額とする方針

(円/株)	2019/6期	2020/6期	2021/6期	2022/6期 見通し	2023/6期 以降
一株当たり利益	28.80*	36.19	50.11	<b>58.01</b>	
一株当たり配当金	0.00	3.50	4.00	<b>未定</b>	<b>業績に応じて変更</b>
配当性向	-	9.7%	8.0%	<b>未定</b>	<b>一定水準を設定</b>
配当方針	成長投資を重視	期初想定当期純利益の超過分を原資に充当			<b>配当性向基準</b>
株主優待	0	年1回QUO カード付与	年2回優待ポイントを7段階別に付与		<b>廃止</b>

\*2019/9/1に実施した1:2の株式分割後の株式数基準



**Fibergate Inc.**

株式会社ファイバーゲート

**トピックス**

- 1 SDGs注力対応範囲の拡大**
- 2 マンション向けIoTプラットフォーム  
「FGスマートコール(仮称)」提供開始**
- 3 ホームユース：大型学生マンションに導入決定**
- 4 ビジネスユース：Wi-Fi BUS®を  
静岡県小山町役場のバス車輌に提供**
- 5 人道支援プロジェクト参画**

**Mission 1**

ライフステージに合わせて選べる働き方、  
多様な生活スタイルを実現

**Mission 2**

多様な視点・価値観を有する人財が  
活躍できるようダイバーシティを推進

**Mission 4**

通信サービス・Wi-Fiを通して人々の  
生活や教育へのイノベーションを実現

**Mission 3 より良い社会に向けての環境保護・保全活動**

従来の「オンライン化/再生可能エネルギーを通じた環境保護・保全活動」から、手段を特定しない環境保護・保全活動へと拡大

従来までの対応領域



新たな対応領域

**廃棄物リサイクル**

- ✓ 産廃回収業者に廃棄物再資源化に積極的な企業を選定
- ✓ 生活環境を守る素材やエネルギーを還元する100%リサイクルを追求

**Mission 5**

通信サービスやIoTを通じた地域社会の安全・情報伝達に貢献  
(あらゆる人の安全な暮らしに貢献)

従来までの対応領域



新たな対応領域

**民間企業間の人道支援プロジェクト**

- ✓ 草の根活動を通し、公的機関、民間企業との連携により困難に直面される世界の方々を支援

## ファイバゲートのHome IoTサービス

第1弾：取得済レジデンス棟（大阪府豊中市）において最新プロダクト配備による総合Home IoTサービスを提供（2020年11月）

第2弾：FG Lock、FG Smart Sensor（FG Home IoT）をレジデンス棟管理法人向けに営業を開始（2021年1月）

### 第3弾：FG スマートコール（仮称）の実証実験開始（2022年6月）

#### <FGスマートコール>

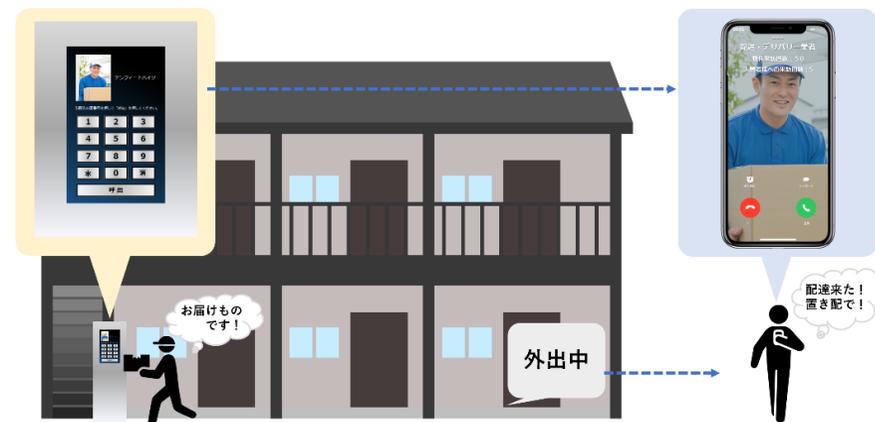
- ✓ インターホンの応答ストレスを解決するマンション向けIoTプラットフォーム
- ✓ 来訪者の顔情報の登録や応答設定を入居者がカスタマイズ
- ✓ 専用アプリでインターホン呼出しを入居者のスマートフォンで対応  
（自動応答メッセージ対応やエントランスの鍵も解錠可能）
- ✓ 来訪履歴があれば、スマートフォンの画面上に来訪者の画像表示が可能

在宅時/外出時いずれもスマホ応答が可能



入居者の応答簡略化  
宅配効率の改善

入居者側・配達業者双方にメリット



# ホームユース：札幌市大型学生マンションに導入決定

## オンライン授業の通信インフラとして 北海道大学近郊の「サンタの館北大前」2棟251戸に導入決定

- 総戸数：251戸
- 主な入居者層：北海道大学の学生

### ■ 導入背景

- ✓ オンライン授業導入に伴い、既存のインターネットインフラに対応容量不足懸念が台頭
- ✓ 速度改善・入居者対応業務の負担削減を図り、当社設備へとアップグレードを実施
- ✓ 他施設で当社設備の導入実績あり

### ■ ターゲットとしての大型学生マンション/寮

- ✓ 有力なホームユースの潜在顧客領域と認識
- ✓ 特に、授業の非対面化が一般的となる中、通信環境の充実整備はマンション・寮オーナーの最重要課題に
- ✓ 直近では、東洋大学学生寮（579戸）にも導入実績

### Mission 4

通信サービス・Wi-Fiを通して人々の生活や教育へのイノベーションを実現

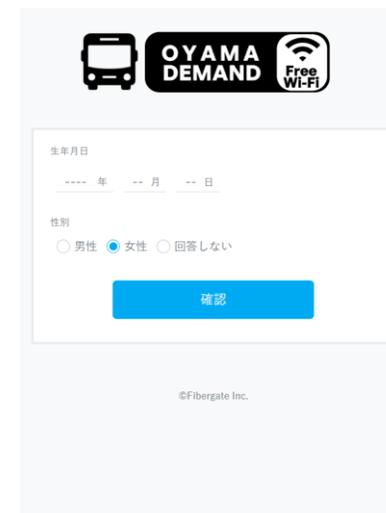


## Wi-Fi BUS<sup>®</sup>サービス

観光バスや貸切バス等移動交通機関向け  
フリーWi-Fiサービス

### 地域のコミュニティバスでの活用事例

- 導入先名：小山町役場（富士急モビリティ様）
- 設置台数：Wi-Fi BUS<sup>®</sup>3台
- サービス：小山町内を走るコミュニティバスへの乗車者へフリーWi-Fiを提供
- 導入までの経緯：検証機を貸出、実際の運航ルートで接続実証実験の確認後に正式決定



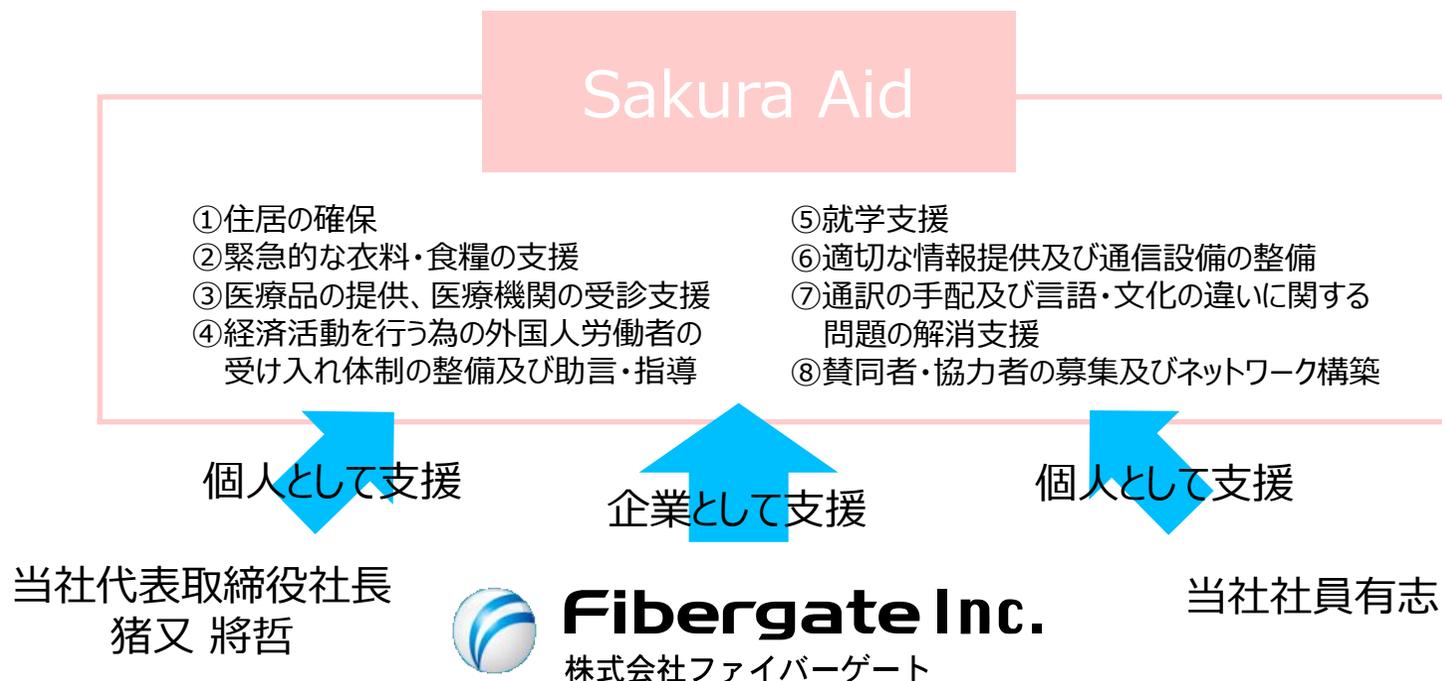
**Mission 5**

あらゆる人の安全な暮らしに貢献



## 「一般社団法人 Sakura Aid」を企業として支援

一般社団法人Sakura Aid：  
 難民・避難民への人道支援法人（次ページ参照）



人道支援プロジェクトを2022年4月に発足  
当プロジェクト有志から集められた基金により、  
2022年5月11日に一般社団法人化  
支援にご賛同いただける協力企業様を募集



- 法人名** 一般社団法人 Sakura Aid
- 所在地** 〒060-0061 北海道札幌市中央区南一条西8丁目10-3
- 目的** 行政機関、民間企業及び各種団体又は個人と連携し、難民・避難民が持続的に生活を営むことが出来る環境の構築
- 事業内容** 難民・避難民への①住居の確保、②緊急的な衣料・食糧の支援、③医療品の提供、医療機関の受診支援、④経済活動を行う為の外国人労働者の受け入れ体制の整備及び助言・指導、⑤就学支援、⑥適切な情報提供及び通信設備の整備、⑦通訳の手配及び言語・文化の違いに関する問題の解消支援、⑧賛同者・協力者の募集及びネットワーク構築
- 設立年月日** 2022年5月11日
- 理事**  
代表理事 猪又 将哲 (株式会社ファイバークート 代表取締役社長)  
理事 小野寺 裕司 (株式会社ONODERAホールディングス 代表取締役会長CEO)  
理事 石田 克史 (ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社 代表取締役会長兼社長CEO)
- WEBサイト** <https://www.sakura-aid.com>

## Reunir Gracias 川口 — レユニールグラスias カワグチ —

### <新世代型SDGsエコロジーマンションの特徴>

1. 自家発電自家消費型太陽光発電システム
2. FG Home IoT
3. 顔認証システム
4. 衛星通信Wi-Fi
5. DDHBOX

再生可能エネルギー供給

  
 ファイバークート100%子会社

IoTシステム/衛星通信Wi-Fi提供

 **Fibergate Inc.**  
 株式会社ファイバークート

不動産開発・所有

  
 ファイバークート100%子会社



### <物件概要>

<https://reunirgracias-kawaguchi.iot-mansion.jp/>  
[https://www.youtube.com/watch?v=Z\\_yLAEgFkaM](https://www.youtube.com/watch?v=Z_yLAEgFkaM)

- ・所在地：埼玉県川口市仲町10番33号
- ・竣工：2022年3月18日

### Mission 3

よりよい社会に向けての環境保護・保全活動



### 3~4月に見学会を実施

各メディア関係者・公的機関・お取引先、  
 個人株主様など約300名が参加



### ■ 報道実績

- ・全国賃貸住宅新聞社 (2022年4月4日号・4月25日号)
- ・Pveye (2022年4月号)
- ・住宅新報 (2022年3月15日号・3月22日号)
- ・テレビ東京モーニングサテライト (2022年5月2日放映)





**Fibergate Inc.**

株式会社ファイバーゲート

# Appendix



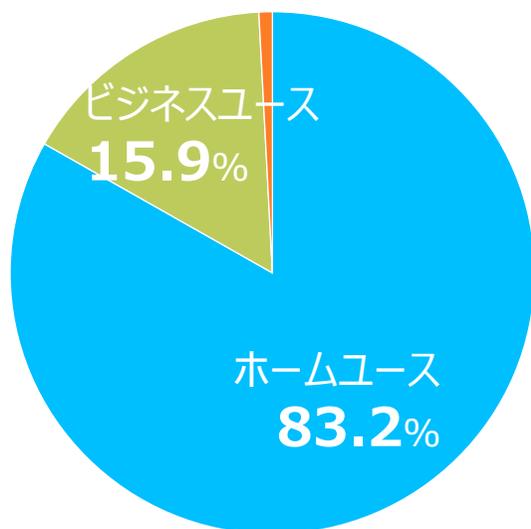
**通信機器の開発・製造から電気通信サービスまで、  
一貫して手がける（通信系キャリア以外の）  
独立系Wi-Fiソリューション企業\***

**\*独立系公衆無線LAN 事業者**

公衆無線LAN(Wi-Fi)アクセスサービス分野で、総務省（総合通信基盤局事業政策課）  
管轄業者かつ提供区域が全国の業者は、現在15社で、当社は大手キャリアと肩を並べる存在

- 2つの主要事業を展開。主力はレジデンスWi-Fiで、売上構成は83.2%（2021/6期）
- 高採算の「顧客PB化支援」（当社は黒子として貢献）に注力

売上構成内訳



2021/6期実績

## ホーム ユース事業



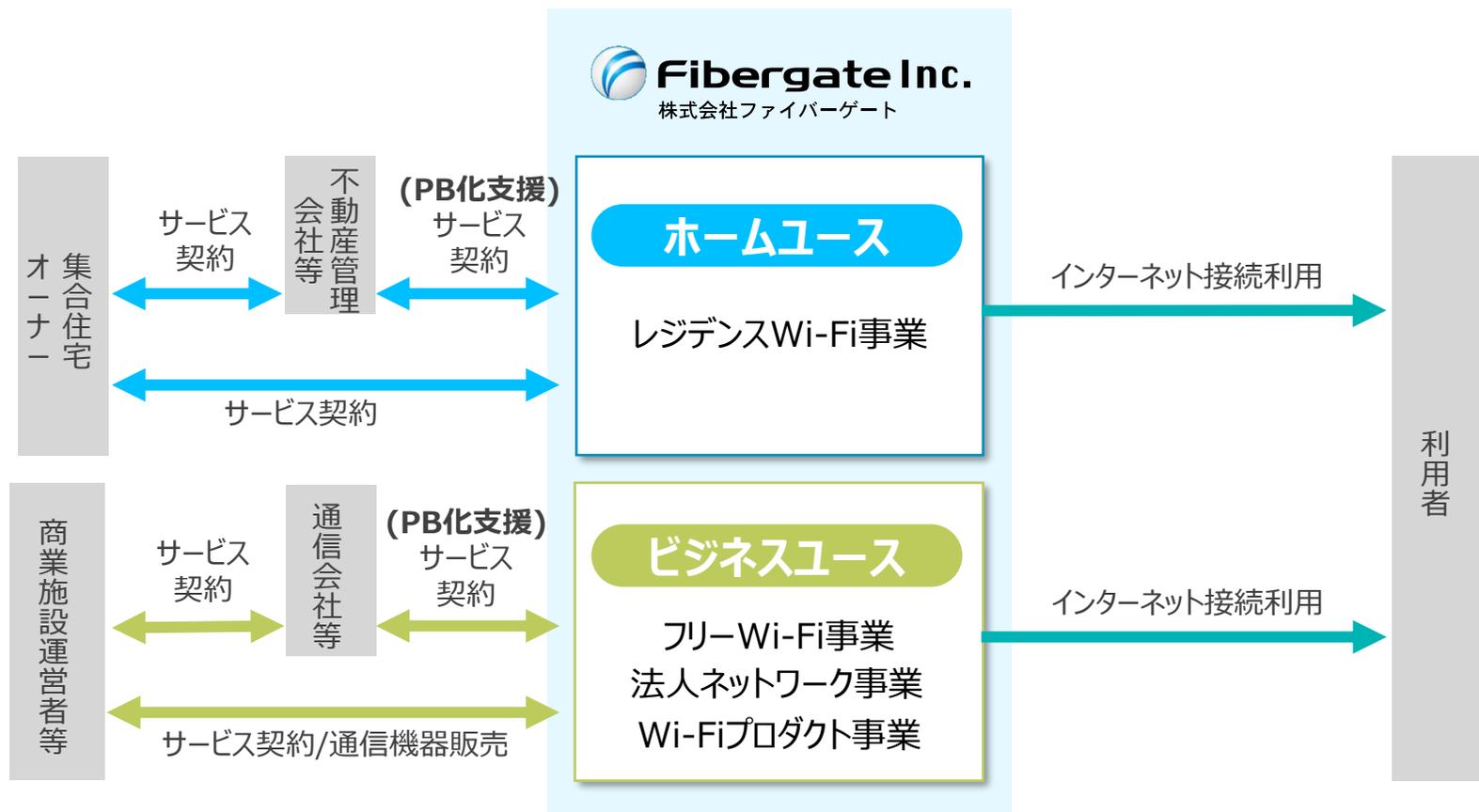
- ・マンション・アパート向け全戸一括インターネット接続サービスの提供
- ・顧客は集合住宅オーナー



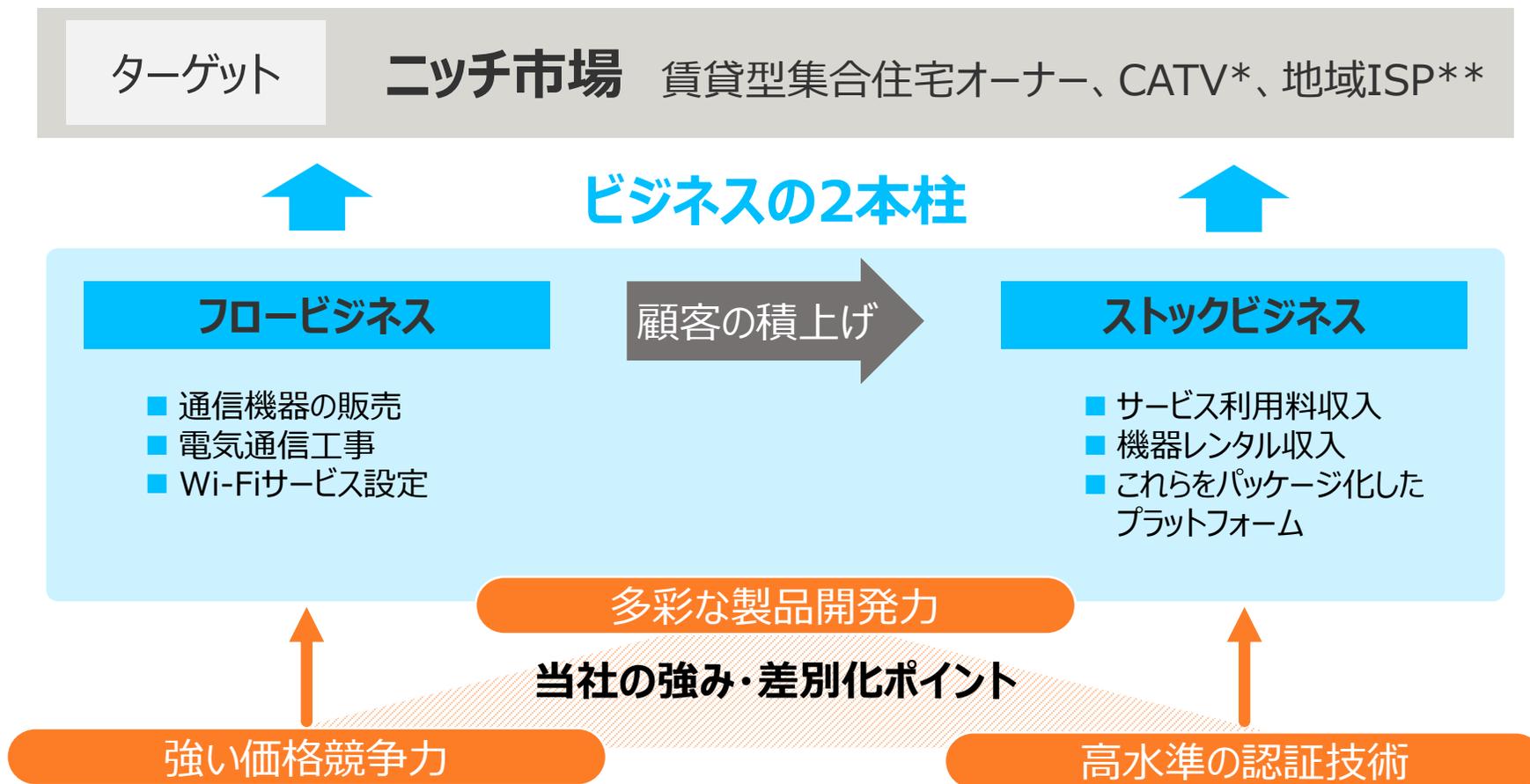
## ビジネス ユース事業

- ・フリーWi-Fi事業(観光地、商業施設向け)
- ・法人ネットワーク事業  
(インターネットプロバイダサービスなど)
- ・Wi-Fiプロダクト事業  
(通信機器の製造販売)
- ・顧客は観光自治体、商業施設などのロケーションオーナー

- 金銭報酬はサービス契約先より受領。インターネット接続利用者の金銭負担はなし
- 「顧客のPB化支援」が主力



- ニッチ市場に向けて、フローとストックの2本柱を用意
- 当社の差別化ポイントは、「製品開発力」、「価格競争力」、「認証技術」の3点



\*CATV : Cable Television。光ケーブルなどを用いてテレビ放送やインターネット接続、電話などのサービスを提供する企業

\*\*ISP : Internet Service Provider。インターネット接続の電気通信役務を提供する電気通信事業者

# Forward to “Alternative Carrier”

～全ての通信のゲートウェイを目指して～

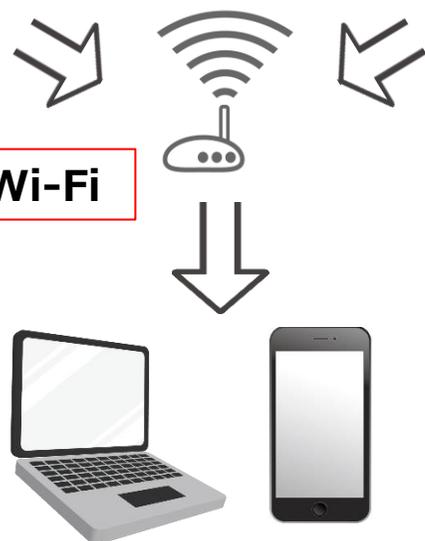
4G/LTE/5G



衛星通信



Wi-Fi



ビフォーコロナの世界

Wi-Fiは“集客ツール”

アフター/ウィズコロナの世界見通し

Wi-Fiは生活必需の“インフラ”へ

快適・安全な通信環境  
大容量通信  
安価・利便性高いソリューション  
へのニーズは一層拡大へ

年	内容
2000	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内、国際電話サービスの加入取次を目的に仙台市若林区に会社設立</li> </ul>
2003	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌市中央区に本社移転</li> <li>複数拠点企業のネットワーク構築、Webでのブロードバンド回線販売を主業とする</li> </ul>
2004	<ul style="list-style-type: none"> <li>レジデンスWi-Fi事業を開始</li> </ul>
2005	<ul style="list-style-type: none"> <li>Wi-Fiによるブロードバンド化サービスを開始</li> </ul>
2006	<ul style="list-style-type: none"> <li>PB化支援による集合住宅向けインターネット無料サービスを開始</li> </ul>
2008	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンスリーマンション向けインターネット接続事業を開始</li> </ul>
2009	<ul style="list-style-type: none"> <li>フリーWi-Fiサービス事業を開始</li> </ul>
2013	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータウェアの企画開発及びインターネット回線取次を担当する子会社NOISを設立</li> </ul>
2014	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社開発通信機器の販売事業（Wi-Fiプロダクト事業）を開始</li> <li>PB化支援による店舗・商業施設向けWi-Fiサービスを開始</li> </ul>
2015	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気通信工事事業認可（北海道知事許可）を取得</li> <li>台湾に100%子会社・飛博網通技股份有限公司を設立</li> <li>電気通信事業法に基づく電気通信事業の登録免許を取得</li> </ul>
2016	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営革新計画企業に認定</li> </ul>
2018	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京証券取引所マザーズ市場に上場</li> <li>株式分割（1株→2株）実施</li> </ul>
2019	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京証券取引所第一部に上場市場変更</li> <li>札幌証券取引所に上場</li> <li>株式分割（1株→2株）実施</li> </ul>
2020	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロダクト開発子会社FG-Lab設立</li> <li>法人向け通信サービス事業等を行う子会社BizGenesisを設立</li> </ul>
2021	<ul style="list-style-type: none"> <li>不動産関連事業を行う子会社FGスマートアセットを設立</li> <li>再生可能エネルギー事業を行う子会社オフグリッドラボを設立</li> </ul>

決算年月		2017/6期	2018/6期	2019/6期	2020/6期	2021/6期
売上高	(千円)	2,787,387	3,977,485	5,446,396	7,424,440	8,491,521
経常利益	(千円)	334,836	510,171	886,999	1,215,285	1,543,702
当期純利益	(千円)	209,331	312,312	550,888	722,848	1,019,439
資本金	(千円)	54,300	401,372	426,896	479,674	488,727
発行済株式総数	(株)	56,200	4,761,900	9,807,400	20,402,400	20,487,800
純資産額	(千円)	413,480	1,380,144	1,981,638	2,710,216	3,677,370
総資産額	(千円)	3,054,242	4,364,688	5,311,858	6,984,445	9,397,635
1株当たり純資産額	(円)	147.15	144.92	202.06	133.52	180.40
1株当たり当期純利益金額	(円)	75.92	81.62	57.60	36.19	50.11
自己資本比率	(%)	13.54	31.62	37.30	38.80	39.13
自己資本利益率	(%)	68.15	34.82	32.77	30.81	31.92
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	544,165	808,563	1,345,616	1,732,861	1,710,762
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲836,777	▲1,328,849	▲1,389,763	▲2,071,715	▲2,256,821
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	313,955	868,783	▲15,102	699,639	1,326,709
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	773,093	1,118,034	1,058,574	1,415,418	2,196,433
従業員数	(人)	115	141	159	180	221

# ご清聴ありがとうございました。

---

## ＜ 見通しに関する注意事項 ＞

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

問い合わせ先  
経営管理本部 IR担当  
0120-772-322  
[fgir@fibergate.co.jp](mailto:fgir@fibergate.co.jp)